

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
児童発達支援事業 風の子キッズ		2026年2月8日				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	9	0	机や椅子、用具はその都度適した配置にし、見直しもおこなっている。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9	0	活動内容を考えながら、グループに対して適切な人数を配置している。	昨年度の同評価において、「配置数は適切だと思うが、こどものお休みが多いと、職員の数が多いのではと感じる時がある。」との保護者のご意見もあったことから、配置基準を満たした上で、配置場所や関わり方など常に検討するようにしている。 →スペースと活動の人数、こどもに添える人数等、今後も常に検討していく。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	9	0	写真やイラストを文字とともに使用した「手順表」や「予定表」を作成し、こどもが見られるようにしている。 安全面では、ガラスの部分を少なくしたり、角があるところにカバーをつけるなどしている。そのような配慮が、どこに何が必要か、ということを皆で常に考えるようにしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	9	0	「消毒」や「トイレ掃除」などは手順を決め、マニュアル化することで誰でもできるようにしている。 カーベットの洗い替えができるようにしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	9	0	部屋数としては少ないが、カーテンやパーテーションなどを利用している。 クールダウンが必要なとき、1人になれるような部屋がある。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9	0	打ち合わせや話し合いの時間を確保できるように、その他の業務も調整し、時間をつくっている。 毎日、指導前の「打ち合わせ」と指導後の「振り返り」の話し合う時間を確保している。 月1回、全員参加の職員会議をおこなっている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	保護者からのご意見等を真摯に受け止め、改善につなげている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9	0	活動後に振り返りをおこない、意見を出しあっている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			行っていない。	第三者評価をおこなえるように、法人全体で検討していきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	9	0	外部研修は全員に周知し、勤務時間の調整を行って受けられる機会を設けている。 施設内研修も不定期ではあるが、開催している。曜日や時間を変えて、多くの職員が参加できるようにしている。	さらに多くの外部研修の情報を得られると良い。 施設内研修の回数を増やすことを検討する。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9	0	作成し、ホームページにて公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9	0	アセスメントや個別面談などにより、こどもと保護者のニーズを把握し、担当者会議を開き、検討している。関わっている職員全員で児童発達支援計画を作成している。	

適切な支援の提供	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9	0	担当者会議を開いている。 その際の記録や、他の面談等の記録を職員全員が確認できるようにしている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9	0	常に全員が確認できるようにしている。 振り返りの際にも確認している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	9	0	他機関での検査結果も、アセスメントの際の参考にしている。 発達検査の種類を増やした。	フォーマルなアセスメントをもっと増やしても良いと思うので、さらに発達検査を増やすことと、発達検査に関する研修の機会を設けることを検討していきたい。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9	0	児童発達支援ガイドラインのねらいや及び支援内容を踏まえ、支援内容を設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9	0	毎月会議を開いて、決めている。 さらに、振り返りや打ち合わせの時間にも、変更する必要があるか、気をつける点、大事にする点など、細部まで話し合っている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9	0	季節によって変えるようにしている。 継続して行うプログラムについては、こどもの成長に合わせて、進め方や指示の出し方、言葉がけ（言葉の課題では質問なども含む）などを変えている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9	0	保護者と面談をして説明をしている。変更がある場合も面談をおこない、話し合っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9	0	朝の時間に定例でおこなっている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9	0	振り返りシートを使い、共有している。 それぞれの気づいたことや困ったことはもちろん、職員の良かったところを「NICEポイント」として出し合っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9	0	徹底している。 記録をもとに、再度話し合いをし、検討している。	
関係機関や保護	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9	0	必ず、保護者の方との面談と、職員同士の会議をおこなっている。	
	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9	0	参加している。 関係機関との会議は、積極的に開くようにしている。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8 (空欄1)	0	文書や電話で情報を伝え合ったり、訪問し、見学や会議を行っている。スムーズにできるように勤務体制を整えている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	行っている。 文書や電話、訪問し見学をさせてもらったり、見学をしてもらったり、会議等により、情報共有と相互理解につなげている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9	0	アイリスシートを必ず渡している。 引き継ぎ会への参加をしている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外泊研修に参加させているか。				

者との連携	30	(自立支援)協議会こども部会や地域のこども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)	7 (空欄2)	0	日頃からアイリスシートによる連携をしている。 地域療育システム検討会に参加している。	
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	5	4	利用児童の所属園などの関係機関とは、見学の受け入れと、こちらからの見学申し入れを行うようにしている。	活動中でおこなうことは難しいが、事業所として、日頃から、地域の児童館、図書館、園などに何う機会を増やしている。 今年度は、ご招待頂いた園での行事に、何うことができなかった。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9	0	親子通所なので、登園の際に話したり、個別面談で話し合っている。 メールやLINEでの相談も場合によっては受けている。	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	1	相談に対しての助言等は常に行っているが、プログラムという形では行っていない。	情報提供が不十分かもしれない。研修の情報など提供できるようにまずは私たちが研修等に参加していくことを増やしていきたい。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9	0	時間を十分にとり、おこなっている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9	0	面談のときに必ず話しあっている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9	0	面談のときに話し合った上で、同意も得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9	0	親子通所であるので、相談に応じられる機会は普段から多くあると思う。加えて、定期的な個別面談も設定している。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8 (空欄1)	0	夏のプール活動できょうだいの交流が少しできたように思う。 保護者会を行い、保護者同士の交流を図っている。	「きょうだい同士で交流する機会」として設定している活動はないので、今後、開催できるように検討していきたい。行事のような形が良いのかもしれない。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9	0	職員間ですぐに共有するようにしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9	0	メインは公式LINEで行っている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9	0	少しでも「あれ？」と思った点はすぐに言うようにし、検討している。常に気をつけているので、今年度も、改善した事柄があった。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9	0	コミュニケーションカードや動作サインの利用と使用のための説明など、個々におこなっている。日本語が母国語ではない保護者の方には、翻訳サイトやアプリの使用なども状況に応じておこなっている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8 (空欄1)	1	ハロウィンイベントを行っている。	もう少し行事を増やしても良いと思うので、検討していきたい。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9	0	周知し、紙ベースでも全員に配布している。	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9	0	BCP策定後の見直し、避難訓練などを定期的に行っている。	さらに様々な事態を想定して、訓練をおこなっていく必要がある。

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9	0	初回面談時、契約時、モニタリング時に、必ず聞くようにしている。 アセスメントシートを使い、聞き忘れがないようにしている。	職員全員に、伝達漏れがないように十分に注意していきたい。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9	0	現在、医師の指示書があるお子さんはいないが、アレルギーの確認は「47」と同じで、全員に複数回チェックしている。医師からの指示があればそれに基づく対応を行う。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9	0	行っている。 その都度、気になった箇所等を伝え合っている。 今年度も改善した点がある。（飛び出し防止のための措置などを行った。）	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9	0	周知している。 訓練には一緒に参加してもらっている。 訓練時にお休みだった方には、資料を渡し、口頭で説明をしている。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9	0	何かあった際にはすぐに共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9	0	虐待防止研修を毎年おこなっている。全員参加できるように複数日開催した。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9	0	面談で丁寧に説明をしている。	面談で話し合った内容が、職員全員に十分に伝わっていなかった。今後、抜けがないように改善する。